

油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター業務  
受託者選定委員会（二次審査会）会議録

令和6年8月23日  
未来創生課作成

会議録（要点記録）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                            |     |                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------------|
| 開 催 場 所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 日南市テクノセンター 2階 201 号室、3階 301 号室                                                                                                                                                             |     |                     |
| 会 議 日 時                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 令和6年8月8日（木）                                                                                                                                                                                | 時 間 | 12 時 30 分～16 時 05 分 |
| 会 議 出 席 者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 1 油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター業務受託者<br>選定委員会<br>【委員】<br>宮口委員長、益田委員、細田委員、落合委員、坂元委員、木方委員、楠委員、<br>鬼束委員（9名中8名出席）<br><br>【事務局】<br>（未来創生課）浜辺課長、渡辺課長補佐、山倉副主幹<br>（観光・クルーズ振興課）古澤課長 （生涯学習課）重永課長、佐藤副主幹 |     |                     |
| 会 議 の 次 第                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 1 開 会<br>2 事前説明<br>（1）2次審査について<br>3 審 査<br>（1）2次審査<br>（2）採点・集計<br>（3）協議・選定<br>4 そ の 他<br>5 閉 会                                                                                             |     |                     |
| 【 内 容 】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                            |     |                     |
| ≪ 2階 201 号室 ≫<br>1 開会（12時30分）<br><br>2 事前説明<br>（1）2次審査について<br>・事務局より、審査の流れについて説明。<br>・審査委員からの意見を受け、ヒアリングについて、委員長から次の3点を、ヒアリング冒頭、すべての申請者に確認することとなった。<br>① 提案事業について、「油津の歴史文化遺産を活用したまちづくり計画」に示した事業費内で対応可能か。超過する見込みの場合、財源をどのように考えているか。<br>（目的）実現性の評価の参考とするため。<br>② 事業を進めていくに当たって、必要なマンパワーは確保されているか。<br>（目的）実現性、将来性の評価の参考とするため。 |                                                                                                                                                                                            |     |                     |
| ＜次ページへ続く（1／6）＞                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                            |     |                     |

③ 堀川運河の水質をどのように考えているか。

(目的) 水辺利活用の施策提案に当たって、堀川運河の現状をどの程度理解しているか参考とするため。

≪ 3階 301 号室へ移動 ≫

### 3 審査

(1) 2次審査

受付番号 1 番 申請者 A 社

#### ① プレゼンテーション (20 分間)

- ・ 申請者 A 社からのプレゼンテーション。
- ・ スクリーンに資料を映して説明。

#### ② 審査委員からのヒアリング (10 分間)

#### 【主な質疑】

(委員) 提案事業は、まちづくり計画に示した事業費内で対応可能か。不足する場合の財源は。

⇒ (申請者 A) 示された事業費内で対応可能。ただし、今後事業を進める中で、事業費の増額をする必要が出てきた場合、ふるさと納税 (納税額拡大の支援をしたうえで) や、クラウドファンディングで原資を獲得したいと考えている。

(委員) 事業の運営主体、事業推進のマンパワーは確保されているか。

⇒ (申請者 A) 弊研究所の研究員を充当するので、問題ない。

(委員) 堀川運河の水質をどのように考えているか。

⇒ (申請者 A) 水質が悪いことは理解している。同程度の水質の運河を活用した観光戦略が成功している地域もあるため、水と一定の距離を置いた施策提案ができるのではと考えている。

(委員) 示されたスケジュールの中で「職員研修」とあるが、目的や想定される効果は。

⇒ (申請者 A) 新しい施策を検討する場合、担当する課の皆さんと、ターゲットなどを共通認識として共有し、特定の職員に理解が偏らないようにすることで、自治体内部に温度差が生まれることを回避することが重要と考えている。

(委員) 事業の一つに花峯橋整備があるが、現状をどのように解釈しているか。

⇒ (申請者 A) 現地を見ると、老朽化が相当進んでおり、通行止めとなっているが、ネットを見るとそういった情報がない。外への情報発信が大いに不足していると思われるため、現状含めて外に広く見知ってもらうことが必要と考える。

(委員) 河野宗泰家をはじめ、油津地区の古民家をどのようにしたいか、考えはあるか。

⇒ (申請者A) 古いから価値があるという一般的な考えに捉われず、古民家 1 件 1 件の価値を見極め、活用方法を検討したい。

#### 受付番号 2 番 申請者 B 社

##### ①プレゼンテーション (20 分間)

- ・申請者 B 社からのプレゼンテーション。
- ・スクリーンに資料を映して説明。

##### ②審査委員からのヒアリング (10 分間)

#### 【主な質疑】

(委員) 提案事業は、まちづくり計画に示した事業費内で対応可能か。不足する場合の財源は。

⇒ (申請者B) 溢れた財源はクラウドファンディングの活用を想定している。事業費によっては、地域創生ファンドの活用も検討したいと考えている。

(委員) 事業の運営主体、事業推進のマンパワーは確保されているか。

⇒ (申請者B) 自社のリソースを活用するので、問題ない。それでも不足する場合は、新たなネットワークの中から人材を調達する。

(委員) 堀川運河の水質をどのように考えているか。

⇒ (申請者B) 地域の関係団体と連携して、清掃活動など小さな動きから始め、県による整備など大きな動きになるようなきっかけを作っていきたい。

(委員) 駐車場をどのように考えているか。

⇒ (申請者B) 駐車場の問題は、大きな課題になってくると認識している。

(委員) 花峯橋の活用方法をどのように考えているか。

⇒ (申請者B) 花峯橋を含めた堀川運河沿いにある 3 つの橋を一つとして考え、それぞれに付加価値を付け、橋自体の価値を深めてはどうかと考えている。

#### 受付番号 3 番 申請者 C 社

##### ①プレゼンテーション (20 分間)

- ・申請者 C 社からのプレゼンテーション。
- ・スクリーンに資料を映して説明。

## ②審査委員からのヒアリング（１０分間）

### 【主な質疑】

（委員）提案事業は、まちづくり計画に示した事業費内で対応可能か。不足する場合の財源は。

⇒（申請者Ｃ）示された事業費内で対応可能と考えている。不足する場合は、国の補助金の獲得を想定している。国の補助の状況によっては計画期間を後ろ倒しする必要もあると思うが、地域と一緒に頑張って申請を続け、事業を遂行したい。

（委員）事業の運営主体、事業推進のマンパワーは確保されているか。

⇒（申請者Ｃ）市民ワークショップなどを開催し、まちづくりに興味がある方などへアプローチを行い、人材獲得を図りたい。

（委員）堀川運河の水質をどのように考えているか。

⇒（申請者Ｃ）これから調査等行いたい。

（委員）ガイダンスセンターの活用方法をどのように考えているか。

⇒（申請者Ｃ）事業が始まってから、地域住民の意見を生かして、検討したい。

（委員）町全体の魅力アップに向けた取組をどのように考えているか。

⇒（申請者Ｃ）地域一帯の魅力が向上しないと来訪者が来ないことは承知している。古民家を活用したイベント、ツアー造成等、ソフト事業を同時進行で進めていきたい。

## 受付番号４番 申請者Ｄ社

### ①プレゼンテーション（２０分間）

- ・申請者Ｄ社からのプレゼンテーション。
- ・スクリーンに資料を映して説明。

## ②審査委員からのヒアリング（１０分間）

### 【主な質疑】

（委員）提案事業は、まちづくり計画に示した事業費内で対応可能か。不足する場合の財源は。

⇒（申請者Ｄ）示された事業費内で対応可能と考えている。不足する場合もいろいろな手法を活用して対応したい。

（委員）事業の運営主体、事業推進のマンパワーは確保されているか。

⇒（申請者Ｄ）弊社スタッフで対応可能。状況に応じて市民を巻き込んだり、ボランティアなど活用していきたい。

(委員) 堀川運河の水質をどのように考えているか。

⇒ (申請者D) 水質が悪いという声は聞いている。例えば花峯橋に愛着を持ってもらうために橋をみんなで掃除して、川がだんだんと綺麗になる、そういった取り組みを施策の中に入れていきたい。

(委員) コーディネーター業務の運営体制について、プロジェクトチームの原資は何か。

⇒ (申請者D) プロジェクトリーダーを獲得するための資金はコーディネーター委託料の中で対応。プロジェクト毎の資金は、具体的にプロジェクトを創設した後、話し合いながら決めていきたい。

(委員) 花峯橋の復原に対して、市民の理解を得るための対策をどのように考えているか。

⇒ (申請者D) 橋の歴史文化財としての背景を地域の方と丁寧に考察したり、イベントで活用したりなど、地域の皆様の意見を聞きながら、一緒に考えていきたい。

#### ≪ 2階 201 号室へ移動 ≫

### 3 審査 (再掲)

#### (2) 採点・集計

- ・各委員による採点終了後、事務局にて集計。

### 3 審査 (再々掲)

#### (3) 協議・選定

- ・事務局より、集計結果を報告。その後、受託候補者選定の協議を行った。

1 位 (最優秀者)                      株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所  
2 次審査点数 74.6 点。1 次審査加点後 92.7 点。

2 位 (優秀者 (次点者))    申請者ア  
2 次審査点数 66.8 点。1 次審査加点後 85.8 点。

3 位    申請者イ  
2 次審査点数 66.1 点。1 次審査加点後 83.1 点。

4 位    申請者ウ  
2 次審査点数 51.3 点。1 次審査加点後 67.3 点。

#### 【協議の中で出された主な意見】

- ・2 位以下の申請者もそれぞれ得意分野がある。せっかく応募いただいたのだから、今後事業を進めていくうえで、連携が図れる部分があれば、部会に入ってもらうなど、繋がりを持ってもらいたい。

**【審査結果】**

1位の「株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所」を受託候補者として選定する。

**4 その他**

特になし。

**5 閉会（16時05分）**

<最終ページ（6／6）>